

# 御挨拶～ ようこそ田辺海上保安部へ～

今日は、田辺海上保安部ホームページをお訪ねいただきありがとうございます。  
これから田辺海上保安部について、ご紹介します。

田辺海上保安部は、昭和25年6月、大阪海上保安監部の下部組織である田辺警備救難署として産声を上げました。  
その後、昭和29年4月に田辺海上保安部に昇格し、和歌山県全域を管轄することとなり、串本、和歌山警備救難署は、田辺海上保安部の下部組織となりました。さらに、串本警備救難署の改称、和歌山海上保安部の設置等の組織改正が幾つか行われ、平成16年10月に、田辺海上保安部と串本海上保安署の2部署から成る、今の体制となりました。

現在、田辺海上保安部には、巡視船みなべ(358トン)、巡視船こうや(213トン)、  
巡視艇むろかぜ(26トン)の3隻が、串本海上保安署には、巡視艇むろづき(101トン)  
1隻の巡視船艇が配備され、職員一丸となって、担当する10,460平方キロメートル  
(和歌山県の面積の約2.2倍)という広大な海域の安全・安心の確保に努めています。



また、田辺海上保安部では、南海トラフの巨大地震等を始め、豪雨災害などの自然災害への対策を大きな課題の一つとして取り組むとともに、紀南地方の特徴でもある漁船・瀬渡し船・プレジャーボート・ダイバー・釣り人などによる事故の防止にも力を入れています。

田辺海上保安部では、このホームページを通じて、海に関する色々な情報を発信し、皆様のお役に立てればと考えております。

これからも、『安全で明るく美しい紀南の海』を守るため、職員一同全力を捧げ取り組んでまいりますので、私たちの仕事への御理解と御協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

田辺海上保安部

